

大学教育再生加速プログラム（AP） 事後評価調書

【公表】

1. 整理番号	44
2. 大学等名	愛媛大学
3. テーマ	Ⅲ. 高大接続
4. 取組学部等名	法文学部、教育学部、社会共創学部、理学部、医学部、工学部、農学部、スーパーサイエンス特別コース
5. 事業期間	平成26年度～令和元年度（6年間）

【公表】

8. 事業の概要(※400字以内)	(397.5文字)
<p>本事業は、愛媛大学附属高校をモデルとして取組んできた大学・高校教育の円滑な接続方法の研究・開発を進展させ、高校段階で“学びへの意欲”を高めることによって大学における“深い学び”を確保し、大学教育の到達点の高度化を目指すものである。そのために、①パイオニア・アドバンスト・プレイスメント(AP)プログラムの創設と二重(デュアル)単位の付与、②ルーブリック評価による「課題研究」の高度化と入試への活用、③高大で一貫して汎用的能力を育てるICT教材の開発を実施し、高大接続事業による問題発見・解決力育成の成果を深化発展させ、「幅広い教養と深い理解」「学び続ける意欲」「知の運用能力」を育成する。また、教学IRによって大学入学後も接続教育の効果測定を行い、高校及び大学教育の質的向上を図るとともに、本事業で得た知見や評価方法を、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定する新入試制度の導入においても活用する。</p>	